

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月30日

提出区分	実績	整理番号	17	課題区分	C
横断的な課題	「地方回帰」の流れを捉えた新たな暮らし方・働き方の提案による移住定住の推進・地域人材の確保				
地域重点政策	4 北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり				北アルプス地域振興局
実施機関	大町保健福祉事務所			担当課	福祉課
事業名	シニアの居場所づくり支援事業			電話	0261-23-6507
				E-mail	omachiho-fukushi@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	歩いて訪れることができる身近な地域において、多世代の住民が利用できる「居場所」がシニアの手により作られ担われることにより、高齢者の生きがいづくり及び社会参加が促進される。			
	現状と課題	シニアが身近な地域で「人とのつながり」を実感できる場所を作るための取組みは既に大北各地でも行われているが、まだ地域に十分に知られていない現状である。また、居場所づくりを進めようとする担い手の発掘や実際に取組みを進めるにあたり、開設の仕方、運営のノウハウの習得等様々な課題がある。			
	内容 (変更後の内容)	○まちの縁側講座の開催 歩いて訪れることができる身近な地域において、シニア自身の手により自分達が無理なく継続的に参加できる「居場所づくり」を進めるため、まちの縁側講座を白馬村で開催する。 ・日時:令和3年10月28日(木)13時から ・場所:白馬村多目的ホール(主会場) ・内容 ①まちの縁側の意義について講義 ②まち歩き(3コースに分かれて実施) ③グループワーク(まち歩きの振り返り) ○居場所づくり実践に係る情報発信 地域のシニアの居場所づくりの取組みを取材した、シニア活動情報通信を地域のシニアや関係機関に配付することにより、居場所づくりに関心を持つシニアの参加促進や新たな取組みへの参考にしてもらう。(3回)			
	事業期間	令和3年7月		～	令和4年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	まちの縁側講座開催	白馬村で縁側講座を開催	41,318		
	居場所づくり実践に係る情報発信	シニア活動情報通信を3回発行	36,105		
	合計		77,423		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	縁側講座アンケート結果 参加者の満足度(5段階中4以上)		参加者の1/2以上	参加者の70%	● 達成
	シニア活動情報通信の配付数		300部/回	300部/回	○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	○まちの縁側講座 令和3年10月28日(木)に白馬村において開催。参加者はスタッフ含めて36名。 会場で「まちの縁側とは」の講義を聞いた後、「いつもの景色の再発見」と題して3コースに分かれ「まち歩き」を実施し、歩くことで見えたものや地域住民との会話から村の良さを再発見した。 その後のグループワークでは、まち歩きで見たこと、聞いたこと、気づいたことなどを討議し模造紙にまとめ、発表を行った。 ○居場所づくり実践に係る情報発信 地域のシニアが取組んでいる居場所づくりをシニア活動推進コーディネーターが中心となって取材し、地域で居場所づくりに関心を持つシニアの新たな取組みの参考となるよう「シニア活動情報通信」を7月、11月、3月の年3回発行し、地域のシニアや関係機関に配付した。				
今後の方向性	まちの縁側講座の開催及びシニア活動情報通信の発行を継続的に実施していく。				